

茨城新聞

6/14
[月曜日]

茨城新聞社

〒310-8686
水戸市北見町2番15号
電話(029)221-3121(代)
http://www.ibaraki-np.co.jp

編集センター
〒310-0842
水戸市けやき台3-42-1
電話(029)248-5500(代)

©茨城新聞社 2010

購読申し込みは
☎0120-029-218

「KIRAっと!」は輝く若者たちのページです。情報や投稿をお待ちしています。
住所、氏名、年齢、電話番号を明記。感想や要望も添えてください。
〒310-0842 水戸市けやき台3丁目42-1 茨城新聞社学芸部「KIRAっと!」係
FAX029(248)7754 Eメール:gakugei@mail2.ibaraki-np.co.jp

つくば、並木中・高

「アフリカ救う米」試食

文化祭で発表 児童労働体験も

県立並木中と並木高(つくば市並木)の文化祭「第25回かえて祭」が4、5の両日開かれ、アフリカで栽培することを目的に開発されたイネ「ネリカ」の試食会を開くなど生徒たちが日ごろの国際理解の学習の成果を発表した。また、サッカーボールを製作するため、子どもたちが働かされている実態についても調べ、実際にボールを手で縫う体験をした。



生徒たちは5月の連休を生かし、アフリカや貧困をテーマに新聞記事を切り抜き、クラス全員が共通認識をもった上で、グループに分かれ、テーマ別にポスターを制作し、文化祭に臨んだ。

ネリカは、アフリカの食糧事情を改善するために開発されたイネで、畑でも栽培でき、イネ「ネリカ」を試食する坂本奈緒子さんと新井貴絵さん(石から)「つくば市並木の県立並木高」

病害虫に強く、肥料がなくても収穫量の増加が期待できる。試食会を開いた坂本奈緒子さん(16)「同高2年」は「意外に粘り気がある。おいしい。水の量を変えると違った感じが味わえるのかも」と話し、永瀬麻梨優さん(16)「同」も「普通に出来たら日本米と区別できるかわからない。飢餓をなくしてほしい」と期待。新井貴絵さん(16)「同」は「(将来)日本語教師として海外青年協力隊に参加してみたい」と

(富岡良一)